

第4号様式

指定管理業務評価表

	施設名	富士見市立関沢児童館・諏訪児童館・ふじみ野児童館	令和7年度	事業報告	
	指定管理者名	特定非営利活動法人ふじみっこ・夢みらい			
	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	所管課	子ども未来部 保育課	

自己評価…指定管理者 所管評価…市(施設所管課)

1 業務の実施体制	個別評価項目	確認基準	自己評価	所管評価	施設所管課評価意見
	人員体制	事業計画書どおりの人員を配置している。	A	A	
		必要な資格や経験を有する人員が配置されている。	A	A	
		責任者(代理する者)が施設に常駐している。	A	A	
	職員の対応等	仕事内容を十分に把握し、利用許可や施設案内等を迅速かつ適正に行っている。	A	A	
		名札を着用し、業務遂行にふさわしい服装となっている。	A	A	
		利用者の要望や苦情等に対して適切に対応している。	A	A	
		言葉遣い、態度などの接遇は適切である。	AA	A	水準どおりのため、A評価とする。
		事業計画に即し、職員研修を計画的に実施している。	A	A	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき管理運営を行っている。	A	A	
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備され、個人情報の漏洩、滅失等の対策を講じている。基本協定書の個人情報取扱特記事項を遵守している。	A	A	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備され、適切に対応できる。	A	A	
報告書の提出	定期報告書、事業報告書を期限内に提出している。	A	A		
安全、緊急対策	事故・災害等緊急時のマニュアルがあり、訓練が実施され、連絡体制や対応体制ができています。また、事故等があった場合、適切な対応が行われ、報告が市にされている。	A	A		
	事故防止及び安全確保(避難通路の確保等)のために施設や設備の目視や点検を行い、常に施設や設備の状況を把握している。	A	A		

2 業務の内容・水準	維持管理	条例等の規定に基づき開館日、開館時間を遵守している。	A	A	
		外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	A	A	
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行い、利用者が施設を快適に利用できる環境となっている。	A	A	
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行い、利用者が安全・快適に施設を利用できている。	A	A	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理し、利用者が快適に利用できているか。	A	A	
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A	A	
	事業運営	事業計画書に即し、自主事業を実施している。	AA	A	水準どおりのため、A評価とする。
		事業内容が利用者サービスの向上に寄与している。	A	A	
		地域や他施設との連携に努めている。	AA	A	水準どおりのため、A評価とする。
	利用者アンケート	利用者の要望等の把握方法は適切である。	A	A	
		要望等の対応策は適切である。	AA	A	水準どおりのため、A評価とする。
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準にある。	A	A	
	管理記録	業務日誌を適切に整備、保管している。	A	A	
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A	
	環境配慮	省エネ、ゴミの抑制、リサイクルの推進に努めている。	A	A	

3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	A	A	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は適正である。	A	A	
	経費縮減	経費が縮減され、又はその縮減に向けた努力を行っている。	A	A	

総合評価			A	A	
------	--	--	---	---	--

成果・課題等	(自己評価) 令和7年度も、新型コロナやインフルエンザの感染症に対する警戒は緩めず、来館者の健康観察やおもちゃや施設の消毒に努めました。同時に感染症対策、防犯対策、防災については「児童館危機管理マニュアル」に基づいて訓練を積み重ね非常時の備えとしています。 事業面では5ヶ年計画の3年目にあたり、既存事業の継続と新規事業の着実な実施に努めました。新規事業の中でも「子どもの声を聞いて事業化する取組」では、各館で様々な新たな事業展開となりました。このことは、富士見市議会の文教福祉常任委員会に属する議員の皆様と、法人と3児童館の館長とで、「子どもの意見を反映する取組について」をテーマとした意見交換会(1月30日)で各館の取り組みについて十分発表することが出来ました。また、児童館は「地域子育て相談期間」としての館内における子育て相談を充実させ、子ども未来応援センターとの連携に努めました。研修については各館で児童館連絡協議会、同西部ブロック、児童健全育成推進財団、県、市民間レベルの研修にも積極的に参加しました。また、新任職員研修も児童館の役割、富士見市の児童館の歴史と特徴、接遇について実施しました。 今後も地域の個人・団体の皆様と連携を深めながら楽しい遊びと安心できる場所を提供します。	
	(所管評価) 感染症対策を徹底しつつ、既存事業の継続と新規事業の展開に意欲的に取り組まれている姿勢が伺え、特に、「子どもの声を聞いて事業化する取組」は、子どもたちの主体性を尊重し、多様なニーズに応える上で重要な試みであり、議員との意見交換会を通じてその成果を発表されたことは評価しております。 地域子育て相談拠点としての役割も積極的に果たされており、関係機関との連携強化により、地域全体での子育て支援体制の構築に貢献されている点も評価に値します。職員の研修にも力を入れており、児童館の役割や接遇に関する知識・スキル向上に努められていることは、利用者へのサービス向上に繋がると期待されます。 今後は、これらの取組を更に発展させ、地域の実情に合わせた特色ある事業を展開していくことで、児童館が地域社会にとってより一層不可欠な存在となることを期待します。また、研修内容の充実を図り、職員の専門性を高めることで、更なるサービスの質の向上を目指して頂くよう期待しております。	

※評価区分

①	個別評価	AA(優良)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理運営内容である。 A(良好)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理運営内容である。 B(問題含)＝協定書、仕様書等を遵守しているが、管理運営内容の一部に問題がある。 C(要改善)＝協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善が必要な管理運営内容である。
		
②	総合評価	AA(優良)＝個別評価がすべてA以上であり、かつAAが過半数である。 A(良好)＝個別評価がすべてA以上である。(上記以外) B(問題含)＝個別評価がすべてB以上であり、Bの割合が1割未満である。 C(要改善)＝上記以外